

笠間地域における青年農業者の育成

県央農林事務所笠間地域農業改良普及センター

笠間地域農業改良普及センターでは、新規就農者向けの農業講座開催や、地域後継者クラブへの支援等を行うことで、次世代を担う青年農業者等の育成に力を入れています。

後継者就農が少ない当地域では、新規就農者の定着率の低迷が大きな問題でしたが、「新規就農者のための農業講座」等の取り組みにより定着率（過去5年平均）は向上しています（H22：84.6%→H26：91.2%）。また、後継者が取り組む「プロジェクト活動」が、全国でも高い評価を受けるなど、組織活動をつうじて若い後継者の成長する姿が見られます。

新規就農者の育成

新規就農者の定着とステップアップを支援するため、毎年就農1～3年目の農業者を対象に「新規就農者のための農業講座」を開催しています。講座は、農業に関する基礎的な知識の習得と、普及指導員や新規就農者同士のつながりを深めてもらうことを目的としています。H26は、全11回（13日）の講座を開催し、のべ157名の参加がありました。



全国大会で発表するクラブ員



受講生同士のは場を見学した相互訪問研修

笠間地域青年経営者クラブの活動支援

笠間地域唯一の農業後継者クラブ「笠間地域青年経営者クラブ」は、会員17名で活動をしています。普及センターでは、定例会やイベント出展などの組織的な活動とともに、個別の課題解決に取り組む「プロジェクト活動」を支援しています。H26に取り組んだプロジェクト活動は、県及び関東ブロックの発表会で上位入賞を果たし、全国大会に出場して農林水産省経営局長賞を受賞しました。

ホワイトスターの活動支援

ホワイトスターは、若い農業後継者の配偶者で構成された組織で、8名の会員がいます。子育て世代の会員が多く、経営類型も多様であるため、会員個々の課題に応じた支援をしています。H26は、パソコンを使った簿記記帳の指導や、農産加工の啓発、研修会への誘導等の支援を行いました。これらの働きかけにより、会員の中に経営に参画していこうという意識が芽生えつつあります。



農産加工研修会（POP講座）における一コマ